

「御嶽宿地域景観等整備指針づくり懇談会」の取り組み経過

「御嶽宿」は、江戸時代の主要街道「中山道」の宿場町として設置され、江戸と京都を結ぶ主要街道の重要な拠点として、人々が往来するとともに、荷物の輸送や情報文化が行き交う場所として大きな賑わいをみせました。しかし、現在ではその面影は薄れ、賑わいもみられなくなっています。

町ではこうした地域の資源を生かし、特色を生かしたまちづくりをすすめるため、「御嵩町第四次総合計画」のなかで町の将来像を「ひと・みどり・ものづくり いきいき十字路タウンみたけ」とし、御嶽宿の再生を基礎にまちづくりをおこなっていくことを決めました。

この総合計画を受け、平成 20 年度には「御嶽宿地域再生構想」を策定しました。そしてさらに具体的な取り組みを行なっていくため、平成 20 年 10 月より、地域の皆さん、活動団体、商工会、観光協会、地元高校生、大学生、岐阜県などの方々にご参加いただき、これまで 6 回にわたり「御嶽宿地域景観等指針づくり懇談会」等を開催し、指針づくりをすすめてきました。



「御嵩町第四次総合計画」と「御嶽宿再生構想」

- 経過 -

平成 20 年 9 月 4 日(木) 午後 7 時 30 分～ 元町クラブ

地元自治会の皆さんへ「御嶽宿地域景観等整備指針」の内容と、今後の取組みについて説明。

平成 20 年 10 月 18 日(土) 第 1 回懇談会 午後 1 時～ 役場北庁舎 3 階大ホール

「なぜ、いま御嶽宿なのか...」を参加者全員で考えました。御嶽宿の地元を代表して、田中一成さん・広間光男さんに、以降毎回ご出席いただきました。



平成 20 年 11 月 15 日(土)

第 2 回懇談会 午後1時～ 役場北庁舎3階大ホール
地元高校生や大学生も参加し、「御嶽宿がこうなるといいね...」という想いを出し合い、写真に書き込んだり色を塗ったりしながら、将来像や夢について話し合いました。



平成 20 年 11 月 30 日(日)

社会実験

御嶽宿内にある金属製のゴミ集積箱に板を貼りつけたり、灯籠を新たに作ってみたりと、御嶽宿の景観に溶け込むものを製作しました。

当初は午前中で終了する予定が、完成したのは午後4時過ぎでしたが、地元の皆さんにもご参加いただき、御嶽宿の景観について一緒に考えることができました。また、自治会長さんからは昼食を御馳走になりました。

この日は「岐阜放送」の取材もありました。



平成 20 年 12 月 7 日(日)

第 3 回懇談会 午後1時～ 役場北庁舎3階大ホール

前回(第 2 回)より、もう少し具体的に御嶽宿のなかでできそうなことを考え、意見を出し合いました。



平成 21 年 1 月 10 日(土)

第 4 回懇談会 視察(各務原市・美濃市・美濃加茂市)

実際に他の事例を参考にしようと、「鵜沼宿」「うだつのあがる町並み」「太田宿」を視察し、御嶽宿の景観づくりに参考なる点などを学んできました。



平成 21 年 2 月 15 日(日)

第 5 回懇談会 午後1時～ 中公民館3階大ホール

これまでの成果を形にし、「指針」としてまとめあげるため、意見の集約と確認をおこないました。

また、特産品として「みたけ華ずしの会」の皆さんが現在開発中の「華ずし」と「箱ずし」づくりを体験・試食しました。



平成 21 年 3 月 15 日(日)

午後7時30分～ 元町クラブ

元町自治会の皆さんへ「御嶽宿地域景観等整備指針(案)」の内容と、21年度以降の取組みについて説明。

地元からの意見・要望をうかがいました。

平成 21 年 3 月 29 日(日)

第 6 回懇談会 午前10時～ 役場北庁舎3階大ホール

先回の懇談会で、指針について確認をおこなった内容を、最終形としてまとめあげました。

これまで協議してきた内容はとても濃く、すべてを指針のなかに入れることはなかなか難しい作業でしたが、参加された皆さんの想いをこの「指針」として形にするとともに、4月以降はそれぞれの分野で想いを具現化できるよう、取組みを継続していく予定です。



今後の展開

今回まとめあげた「御嶽宿地域景観等整備指針」では、景観形成のための理念を『もてなしの心根と心意気を持つ人がいる風景』とし、御嶽宿という歴史ある地域を、今生きる私たちが見つめなおし、誇りに思える場所へと育てていくことを目的と決めました。

4月以降はもう一步踏み込んで、実際に御嶽宿の景観形成に取り組んでいくため、「景観整備指針(実践版)づくり」「交流拠点施設活動内容の検討」「駅前拠点活動内容の検討」「特産品・魅力商品開発」「周辺地域の魅力マップづくり」など、それぞれの取り組みを分科会として整理し、引き続き地域住民、活動団体、観光協会、商工会、地元高校生、大学生、そして行政などが協力して御嶽宿のにぎわい創出に向けて、積極的に努めていきます。



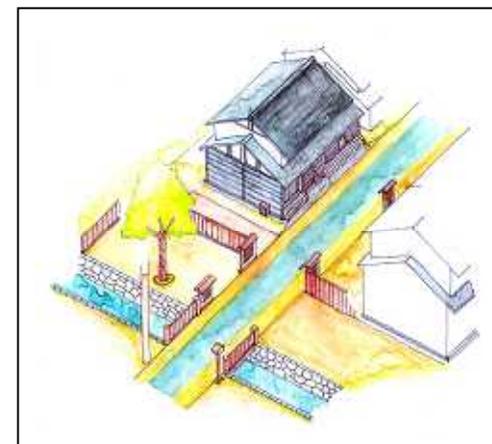
「御嶽宿地域景観等整備指針」

「景観整備指針(実践版)づくり」

今回策定した「御嶽宿地域景観等整備指針」を受け、実際の景観形成に着手していくための基準を定めた「景観整備指針(実践版)づくり」をおこなっていきます。

「交流拠点施設活動内容の検討」

21年度実施予定の「街道みたけ交流館(仮称・旧国枝邸)」の整備にあたり、地域の人々や来訪者との交流の場、活動団体・高校生・大学生の活動や交流拠点としての位置づけなど、交流館での活動の内容を住民自らが検討し、「自分たちの活動の場」としての活用をめざします。



街道みたけ交流館イメージ図

「駅前拠点利用方法の検討」

21年度実施予定の「駅前拠点整備(御嵩駅前太陽光発電設置工事)」の整備にあたり、地産地消やレンタサイクルなどを含めた、施設の利用方針や利用の内容について検討し、駅前拠点として「御嶽宿」「名鉄広見線」を中心とする地域の活性化をめざします。



駅前拠点イメージ図

「特産品・魅力商品開発」

現在、「みたけ華ずしの会」や「みたけ庵」など、特産品開発やにぎわいづくりを実践する団体がすでに活動をはじめていることから、今後はさらに知名度のアップや商品化を進めるとともに、今年度は、地元高校とのコラボレーションによる特産品づくりを積極的にすすめていきます(現在、東濃実業高校と日本福祉大学とのコラボレーションによるらっぴーエコ・ランチバック企画をすすめています)。



特産品として開発中の「ささゆりのしらべ」と「らっぴー」

「周辺地域の魅力マップづくり」

御嶽宿周辺には、史跡や名所、魅力ある財産がまだまだたくさんあります。しかし、御嵩町の観光マップはあるものの、御嶽宿周辺をスポット的に紹介したマップがありません。そこで、御嶽宿を訪れた方々が気軽に安心して散策できる「御嶽宿周辺いいところマップ」を作成し、知名度アップをはかります。



御嶽宿周辺には魅力がいっぱい...

